

竣工設備データシート

一般社団法人建築設備技術者協会

はじめに

(1) アンケート対象施設

- ・建物主要用途：学校（対象は下記参照下さい）
 - ・大学(大学院含)・・・主要用途が講義棟・教室棟に類する建物を対象
（研究・実験棟、図書館、体育館等を主要用途とする建物は対象外）
 - ・高校・中学校・小学校・・・全てを対象
- ※ 幼稚園・中等教育学校・特別支援学校・高等専門学校・塾・予備校は対象外
但し、合築型統合学校の場合、幼稚園を含む学校は対象とし、
幼稚園を除いた範囲で記入ください
- ・竣工期間：2003年（平成15年）4月から2013年（平成25年）3月竣工のものとしします。
- ・規模：全て対象とします。
- ・新築建物または増築建物（改修は除く）

(2) アンケート期限

- ・お手数ですが 7月 10日までに、ご回答くださるようお願い致します。

(3) 記入要領

- ・必要箇所に○印または数字等をご記入ください。なお、Excel版をお使いの方は、
選択項目を（ ）や A.〔 〕内にアルファベットまたは数字でご入力ください。
- ・工事名称は、必ず記入して下さい。（ただし、工事名称は公表しません。）
- ・「増築」の場合、既設部分の竣工年を〔既設部分の竣工年〕内にご記入ください。
- ・増築のみで独立するものは増築関連のみでご記入下さい。
- ・対象施設が多棟型の場合は、施設概要欄記載の上、対象棟毎に記載ください。

◎回答内容について確認させて頂く場合があります。お手数ですが、貴殿の連絡先もご記入願います。

◎E-mailアドレスはアンケート以外の目的で使用いたしません。

◎下記にご記入いただいた個人情報はずべて、他の目的で使用いたしません。

回答者連絡先

◎回答内容について確認させて頂く場合があります。お手数ですが、貴殿の連絡先もご記入願います。

ふりがな
回 答 者 名： _____ 社 名： _____
所 属： _____ 連絡先電話番号： _____
F A X： _____ E - m a i l： _____

ふりがな
空調回答者名： _____ 衛生回答者名： _____ 電気回答者名： _____

竣工設備データの活用についてご意見をお聞かせください。

建物概要-1

工事名称		
開設者	1. 国立 2. 公立 3. 私立 A. []	
建物案内	場 所: 都, 道, 府, 県 工事種類: 1. 新築 2. 増築 A. []	竣工年月: 西暦 20 年 月 [既設部分の竣工年: 西暦20 年]
学校種別	1. 大学(大学院含) 2. 高校 3. 中学校 4. 小学校 5. 合築型 () 6. その他 () A. [] ※ 合築型の場合、用途(小・中合築、中・高合築等)を記入して下さい	
大学関係 学科種別	1. 人文科学 2. 社会科学 3. 理学 4. 工学 5. 農学 6. 医・歯学 7. 薬学 8. 家政 9. 教育 10. その他 () A. []	
高校種別	1. 普通 2. 農業 3. 工業 4. 商業 5. その他 () A. []	

高校・中学校・小学校は、全校生徒数・全教職員数を記入して下さい。

全校生徒数	_____ 名
全教職員数	_____ 名

施設概要 (建築基準法において別棟の場合は、棟別にご回答をお願いします。)

全体延床面積 : _____ m²

棟毎の延床面積及び階数

棟番号 1. () m² 地上 _____ 階、地下 _____ 階、塔屋 _____ 階
 棟番号 2. () m² 地上 _____ 階、地下 _____ 階、塔屋 _____ 階
 棟番号 3. () m² 地上 _____ 階、地下 _____ 階、塔屋 _____ 階
 棟番号 4. () m² 地上 _____ 階、地下 _____ 階、塔屋 _____ 階
 棟番号 5. () m² 地上 _____ 階、地下 _____ 階、塔屋 _____ 階
 棟番号 6. () m² 地上 _____ 階、地下 _____ 階、塔屋 _____ 階
 棟番号 7. () m² 地上 _____ 階、地下 _____ 階、塔屋 _____ 階
 棟番号 8. () m² 地上 _____ 階、地下 _____ 階、塔屋 _____ 階

以下の内容は全て(1. 新築 2. 増築部分のみ)のデータとする。

また、「建物概要-2」から「CASBEE」までの設問は、棟別の記載をお願い致します。

(棟別の用紙は、複数棟に及ぶ場合はコピーをしてご回答をお願いいたします)

棟別

棟番号

建物概要-2

※P.2(施設概要)で
ご回答頂いた棟番号

建物規模	棟名称 :	
	主要構造: 1.SRC 2.S 3.RC 4.木造 A. []	
	階数:地上 ____ 階、地下 ____ 階	
	特別な地震対策: 1.免震 (a.全体 b.部分(____)) 2.制震 (a.全体 b.部分(____)) 3.その他 (____) A. [/]	
	延床面積: _____ m ² (内増築部分 _____ m ²) (同上には駐車場面積を含まない)	
	全空調床面積: _____ m ² (内増築部分 _____ m ²)	
	屋内駐車場: 1.有り(_____ m ²) 2.無し A. []	
	基準階 階 高: _____ m 天井高: _____ m	
	大学 : 一般講義室 _____ 室 室定員合計 _____ 人 階段教室 _____ 室 室定員合計 _____ 人	
	小・中・高 : 収容生徒数 _____ 人 教職員数 _____ 人	
	主要用途別床面積(区分の困難な場合はまとめてください。)	
	1) 大学	
	1.講義室 :床面積 _____ m ² 2.管理部門室 :床面積 _____ m ² 3.食堂・厨房 :床面積 _____ m ² 4.体育館 :床面積 _____ m ² 5.物販店舗 :床面積 _____ m ² 6.講堂 :床面積 _____ m ² 7.プール(屋内) :床面積 _____ m ² 8.プール(屋外) :床面積 _____ m ² 9.図書館 :床面積 _____ m ² 10.便所・倉庫他 :床面積 _____ m ² 11.その他(用途 _____) :床面積 _____ m ² その他(用途 _____) :床面積 _____ m ² その他(用途 _____) :床面積 _____ m ²	
	2) 小学校・中学校・高校	
	1.一般教室 :床面積 _____ m ² 2.特別教室 :床面積 _____ m ² 3.職員室他 :床面積 _____ m ² 4.体育館 :床面積 _____ m ² 5.プール :床面積 _____ m ² 6.食堂・厨房 :床面積 _____ m ² 7.便所・倉庫他 :床面積 _____ m ² 8.講堂 :床面積 _____ m ² 9.その他(用途 _____) :床面積 _____ m ² その他(用途 _____) :床面積 _____ m ² その他(用途 _____) :床面積 _____ m ²	
屋内・屋上駐車場 1. 有 2. 無 A. []		
駐車台数:屋内 ____ 台、屋上 ____ 台 (合計 ____ 台) (これらの内機械式駐車 ____ 台)		

屋内駐車場とは地下駐車場、駐車場ビル、立体駐車場をいい、機械式駐車とは立体駐車、複数段機械駐車をいう。

棟別

棟番号

※P.2(施設概要)で
ご回答頂いた棟番号

建物概要-3

設 備 スペース	主機械室面積 ^{*1)} : 合計 _____ m ²
	(電気 ^{*2)} _____ m ² 、衛生・消火 ^{*3)} _____ m ² 、空調 _____ m ² 、昇降機 _____ m ²)
	中央監視室(防災センターを含む) 面積 _____ m ²
	主機械室を除く機械室延面積合計 _____ m ²
	同上内訳(電気 _____ m ² 、衛生・消火 _____ m ² 、空調 _____ m ²)
	屋上機器設置スペース合計 _____ m ²
	同上内訳(電気 _____ m ² 、衛生・消火 _____ m ² 、空調 _____ m ²)
	屋外機器設置スペース合計 _____ m ²
同上内訳(電気 _____ m ² 、衛生・消火 _____ m ² 、空調 _____ m ²)	
シャフトスペース合計 _____ m ² (ES, PS, DSの概算合計値)	

注 *1)主機械室は、熱源機械室、水槽室、電気室、発電機室、変電室、等とする。

*2)主電気室には、副電気室・蓄電池室等を含む。

*3)衛生・消火には厨房除害設備、中水道設備等を含む。

省エネルギー計画

計画値を下の欄に記入してください。

	PAL 外壁性能	CEC/A 空調設備	CEC/V 機械換気設備	CEC/L 照明設備	CEC/HW 給湯設備
学校	(MJ/年・m ²)				

CASBEE(キャスビー建築環境総合性能評価システム) 評価結果の数値を下の欄に記入してください。

ランク	BEE	Q 環境品質	Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境
		L 環境負荷	LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境

評価ツール	1. CASBEE 新築 2. CASBEE新築(簡易版) 3. CASBEE 既存 4. CASBEE 既存(簡易版) 5. 自治体版CASBEE 6. CASBEE学校 新築 7. CASBEE学校 既存					A. [_____]
評価者	1. 自己評価 2. 外部認証					A. [_____]

特殊機能

1) 省エネルギーシステム : 採用されている機能を選んでください(複数回答)。

(電気設備)	(空調設備)	(衛生設備)
1. 照明の自動点滅	12. 外気冷房	31. 排水再利用
2. 初期照度補正	13. 自然通風	32. 節水器具の採用
3. デマンド制御	14. CO ₂ コントロール	33. 雨水利用
4. 昼光利用	15. 全熱交換器	34. 井水利用
5. ブラインドコントロール	16. 高効率機器(熱源)	35. その他
6. 深夜電力利用と蓄熱槽	17. 都市廃熱の有効利用	()
7. コージェネレーション	18. 廃熱ボイラ	
8. 太陽光発電	19. 排水熱回収	
9. 高効率照明(LED等)	20. 排熱回収ヒートポンプ	
10. 風力発電	21. 搬送でのVWV方式	
11. その他	22. 搬送でのVAV方式	
()	23. 水搬送での大温度差方式	
	24. 空気搬送での大温度差方式	
	25. 太陽熱の利用	
	26. BEMS・ビル管理システム	
	27. ペアガラス、Low-Eガラス、断熱サッシ	
	28. 地中熱の利用	
	29. 壁面・屋上緑化	
	30. その他	
	()	
A. []	A. []	A. []

2) 環境教育への活用

上記の省エネルギーシステムのうち環境教育に採用されているものについてご回答ください。

・ “見える化”表示設備が採用されているものでご回答ください。

1. 太陽光発電

2. 風力発電

3. 太陽熱利用

4. 雨水・排水再利用

5. 資源再利用

6. ()

A. []

・ その他ビオトープ等採用されているものを記入してください。()

設備の信頼性・安全性向上策

設備の信頼性・安全性向上のために採用されている対策を選んでください(複数回答)。

(電気設備)	(空調設備)	(衛生設備)
1. 引込の二重化	10. 配管の二重化・ループ化	20. 受水槽・高置水槽の二重化
2. 配電系統の二重化ループ化	11. 熱源等バックアップ	21. 受水槽・高置水槽の 中間中仕切を設置
3. 機器の複数分割設置	12. 空調機器の小型分散化	22. 給湯・厨房熱源分散／二重化
4. 停電時のバックアップ (自家発・蓄電池・CVCF等)	13. エネルギー源の二重化	23. 貯水槽容量割り増し
5. 機器の不燃化(オイルレス)	14. エネルギーの備蓄(蓄熱槽)	24. 排水の仮貯留槽の設置
6. 機器の密閉化 (モールド化、GIS化)	15. エネルギー源(油)の備蓄	25. 雨水貯留槽の設置
7. 機器のメンテナンスフリー化	16. 機器への自家発電源供給	26. 井水の利用
8. 機器の耐震グレード強化	17. 断水対策(空冷機器の採用)	27. 蓄熱槽の転用(消火雑用水)
9. その他 ()	18. 空調機器の耐震グレード強化	28. 水槽の耐震グレード強化
	19. その他 ()	29. 埋設配管沈下対策
		30. その他 ()
A. []	A. []	A. []

設備機器耐震計画

設備機器の耐震クラスを選んでください。

「建築設備耐震設計・施工指針 2005年改訂版」による。

1. 耐震クラス S
2. 耐震クラス A
3. 耐震クラス B A. []

避難施設

以下の設問は、外部からの受入について記載下さい。

本学校は、「避難場所」として指定されていますか

1. はい
2. いいえ A. []

避難場所として、指定されている場合下記記載下さい。

各設問に 1. 有 と回答頂いた場合、その下に内容を記載願います。

- 飲用水の備蓄 : 1. 有 2. 無 A. []
⇒ 備蓄水量 : _____ m³ (_____ 日想定分)
- 食糧の備蓄 : 1. 有 2. 無 A. []
⇒ 備蓄量 : _____ 人 × _____ 日想定分
- 厨房利用(食事の提供) : 1. 有 2. 無 A. []
⇒ 使用燃料 : _____
- トイレの利用 : 1. 有 2. 無 A. []
⇒ 1. 構内トイレの利用 (緊急時用排水槽の有無 1. 有 2. 無)
2. マンホールトイレ
3. その他 (_____)

棟番号

※P.2〔施設全体概要〕で
ご回答頂いた棟の番号

エネルギー・水 使用量(1)

(電力、燃料ガス、油)

種 別	電 力			燃 料 ガ ス				油		その他					
	(電力会社)	(自家発電設備)	会社名 ()ガス	ガスの種類 1.都市ガス () ^{*1} 2.LPGガス(プロパンガス) A.() 高位発熱量 ()kJ/Nm3	種類 ^{*2} () ()		自家発電機 ^{*4} (電気・コージェネ)	自家発電機 ^{*4} (電気・コージェネ)							
									一般電力		深夜電力	自家発電機 ^{*3}	冷温熱源	給 湯	厨房、他
年 月 別 使 用 量 ()	年 1月														
	年 2月														
	年 3月														
	年 4月														
	年 5月														
	年 6月														
	年 7月														
	年 8月														
	年 9月														
	年 10月														
	年 11月														
	年 12月														
合 計															
対象建物 の合計 延床面積															

・エネルギー使用量は、できるだけ最近のデータをお願いします。また単位に注意してください。

・設備が多数の棟で統合されている場合・・・棟毎に使用量がわかる場合 →棟毎に用紙をコピーをしてご記入ください。その際、棟番号を忘れずにご記入ください。

・・・棟別に使用量がわからない場合→熱源全体またはわかる範囲で使用量をご記入ください。

その際、使用量に含まれる棟を全て棟番号に記入してください。

*1 都市ガスの場合はガス会社名、ガスの種類(5A・5B・6A・6B・12A・13A等)または高位発熱量を記入してください。

*2 油の種類 ① 特A重油 ② A重油 ③ B重油 ④ C重油 ⑤ 灯油 ⑥ その他()

*3 *4の自家発電機で発電した電力量をご記入ください。

棟番号

エネルギー・水 使用量(2)

(地域供給熱、水道水、井水、再利用水、給湯水、未利用エネルギー)

※P.2〔施設全体概要〕で
ご回答頂いた棟の番号

種 別	地 域 供 給 熱			水 ・ 給 湯				再生可能エネルギー ・未利用エネルギー		その他
	冷 水	温 水	蒸 気	水 道 水	井 水	再 利 用 水 (雨水を含む)	給 湯 水	電 気	熱	
	(_____ °C)	(_____ °C)	(_____ kPa)				(_____ °C)	方式 (_____)	方式 (_____)	
単 位	×MJ (×10 ⁹ J)	×MJ (×10 ⁹ J)	×MJ (×10 ⁹ J)	m ³	m ³	m ³	m ³	kWh	×MJ (×10 ⁹ J)	
使 用 量 (年 月)	年									
	1月									
	年									
	2月									
	年									
	3月									
	年									
	4月									
	年									
	5月									
	年									
	6月									
	年									
	7月									
	年									
	8月									
	年									
	9月									
	年									
	10月									
	年									
	11月									
	年									
	12月									
合 計										
対象建物の 合計 延床面積	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²

・エネルギー使用量は、できるだけ最近のデータをお願いします。また単位に注意してください。

・設備が多数の棟で統合されている場合……棟毎に使用量がわかる場合 →棟毎に用紙をコピーをしてご記入ください。その際、棟番号を忘れずにご記入ください。

……棟別に使用量がわからない場合→熱源全体またはわかる範囲で用量をご記入ください。

その際、使用量に含まれる棟を全て棟番号に記入してください。

配 管 材 料

設 備 用 途 管 材 料		空 調										衛 生										その他			
												供 給 系				排 水 系				消 火 ・ ガ ス				その他	
		冷	冷	温	冷	熱	蒸	凝	冷	冷	ブ	上	雑	給	温	汚	雑	厨	通	雨	水	ガ	燃	その他	
		温			却	源	気	縮	房	油	ラ	用	湯	泉	水	水	水	房	排		消	ス	料		
		水	水	水	水	水	*	水	レ	ン	媒	イン	水	水	水	水	水	水	水	水	火	火	ガ		
配管方法 密閉(○) 開放(×) (1次側開放で2次側密閉の場合(△))																									
水 処 理 の 有 (○) 無 (×)																									
鋼 管 類	配管用炭素鋼鋼管(白)																								
	配管用炭素鋼鋼管(黒)																								
	水道用亜鉛めっき鋼管(W)																								
	圧力配管用炭素鋼鋼管																								
ライ ニ ン グ ・ コ ー テ ィ ン グ	塩ビライニング鋼管(黒, 白, W)																								
	ポリエチレン粉体ライニング鋼管																								
	ナイロンコーティング鋼管																								
	耐熱塩ビライニング鋼管																								
	内外面塩ビ(ポリ)ライニング鋼管																								
	外面塩ビ(ポリ)ライニング鋼管																								
SUS ・ Cu	一般配管用ステンレス鋼管																								
	配管用ステンレス鋼管(10S)*2																								
	配管用ステンレス鋼管(40)*3																								
	銅 管																								
	冷媒用被覆銅管																								
高 分 子 系	塩 ビ 管																								
	耐 衝 撃 性 塩 ビ 管																								
	耐 熱 塩 ビ 管																								
	ポ リ エ チ レ ン 管																								
	ポ リ ブ テ ン 管																								
排 水 用	排水用铸铁管(メカニカル)																								
	耐 火 二 層 管																								
	排水用塩ビライニング鋼管																								
	排水用タールエポキシ塗装鋼管																								
	ドレン配管用結露防止層付塩ビ管 (ACドレン等)																								
そ の 他																									

1) 使用配管材料を○印で記入してください。(用途各列配管材料については主として使用した材料をひとつあげてください)

2) 上記以外を使用のときは追加してください。

*1 採用配管材料の欄に、○では無く、「高圧」「中圧」「低圧」と記入してください。

*2 配管用ステンレス鋼管(10S):スケジュール10S

*3 配管用ステンレス鋼管(40):スケジュール40

学 校 建 築

以下の内容は全て（１．新築 ２．増築部分のみ）のデータとする。

受 変 電 設 備	受 電 方 式 : 1. 1回線 2. 本線予備線 3. スポットネットワーク 4. ループ
	受 電 電 圧 : 1. 70kV 2. 60kV 3. 30kV 4. 20kV 5. 6kV
	契 約 電 力 : _____ kW 自家発補給電力 : _____ kW
	契 約 種 別 : 1. 業務用電力 2. その他 (_____)
	特別高圧変圧器容量 : _____ kVA × _____ 台
	高圧変圧器合計容量 :
	1. 一 般 電 灯 コ ン セ ン ト 用 変 圧 器 合 計 : _____ kVA 2. 一 般 動 力 用 変 圧 器 合 計 : _____ kVA 3. 非 常 用 電 灯 変 圧 器 合 計 : _____ kVA 4. 非 常 用 動 力 変 圧 器 合 計 : _____ kVA 5. 昇 降 設 備 動 力 変 圧 器 合 計 : _____ kVA 6. そ の 他 用 合 計 : _____ kVA 1 ~ 6 の 総 合 計 : _____ kVA コンデンサ自動力率制御 : 1. 有 2. 無 デ マ ン ド 制 御 : 1. 有 2. 無 高 調 波 対 策 設 備 : 1. 有 (方式: _____) 2. 無
非 常 用 自 家 発 電 設 備	原 動 機 種 別 : 1. ディーゼル 2. ガスタービン 3. ガスエンジン
	冷 却 方 式 : 1. 水冷 2. 空冷
	発 電 電 圧 : 1. 低圧 2. 高圧
	発 電 機 容 量 : _____ kVA × _____ 台
	運 転 時 間 : _____ 時間
	燃料タンク容量 : _____ kℓ
コ ー ジ ェ ネ 設 備	非 常 用 兼 用 : 1. 有 2. 無
	商 用 連 系 : 1. 有 2. 無
	原 動 機 種 別 : 1. ディーゼル 2. ガスタービン 3. ガスエンジン 4. 燃料電池
	発 電 機 電 圧 : 1. 低圧 2. 高圧
	発 電 機 容 量 : _____ kVA × _____ 台
	運 転 時 間 : _____ 時間/日
自 然 エ ネ ル ギ ー 利 用	発 電 装 置 設 備 : 1. 太陽電池 2. 風力 3. その他 (_____)
	発 電 機 電 圧 : 1. 低圧 2. 高圧
	発 電 機 容 量 : _____ kVA × _____ 台
	商 用 系 統 : 1. 有 2. 無
蓄 電 池 設 備	対 象 負 荷 : 1. 非常照明用 2. 操作制御用 3. 兼用 4. 蓄電用
	容 量 : _____ Ah × _____ 台
	形 式 : 1. 開放 2. キュービクル 蓄 電 池 種 別 : 1. アルカリ 2. 鉛 3. リチウム 4. その他 (_____)

U P S 設 備	用 途 分 類 : 1. コンピュータ用 2. セキュリティ用 3. その他 () 容 量 : 1. _____ kVA × _____ 台 2. _____ kVA × _____ 台 3. _____ kVA × _____ 台 4. _____ kVA × _____ 台 (注) 自動充電装置と蓄電池がある据置型設備をいい可搬型のものは含みません。
動 力 設 備	1. 空 調 動 力 負 荷 合 計 : _____ kW 2. 衛 生 動 力 負 荷 合 計 : _____ kW 3. 非 常 用 動 力 負 荷 合 計 : _____ kW 4. 昇 降 設 備 動 力 負 荷 合 計 : _____ kW 5. そ の 他 負 荷 容 量 合 計 : _____ kW 1 ~ 5 の 総 合 計 : _____ kW
電 灯 コ ン セ ン ト 負 荷 容 量	1. 電 灯 コ ン セ ン ト 負 荷 合 計 : _____ kVA 2. そ の 他 単 相 負 荷 合 計 : _____ kVA 1 ~ 2 の 総 合 計 : _____
照 明 設 備	中央からの点滅制御有無 1. 有り 2. 無し 人感センサ制御 1. 有り 2. 無し 教室に昼光センサ利用制御 1. 有り 2. 無し LED照明 1. 教室に採用 2. 教室以外に採用 3. 無し
計 量 設 備	個別計量の有無 1. 有り 2. 無し 有りの場合、自動検針 1. 有り 2. 無し
電 話 設 備	交 換 方 式 : 1. 中継台 2. 分散中継台 3. ダイヤルイン 4. ダイレクトインダイヤル 5. ダイレクトインライン 局 線 数 : 1. 一般回線 _____ 回線 2. ISDN _____ 回線 3. その他局線 _____ 回線 内 線 数 : 1. _____ 回線 2. 構内PHS _____ 回線
情報 (LAN) 設備	一般教室のLAN設備の有無 1. 有り 2. 無し
監 視 設 備	監視制御点数 (電力・空調・衛生含む) : _____ 点 (注) 制御点数のカウント方法はON・OFF・表示・故障で4点とします。
放 送 設 備	出 力 容 量 : _____ W 系 統 数 : _____ 系統 非常放送の自主設置有無 1. 有り 2. 無し 緊急地震速報 1. 有り 2. 無し ページング 1. 有り 2. 無し
セ キ ュ リ テ ィ	セキュリティ設備の有無 1. 入退館カードシステム 2. 侵入センサ、機械警備 (有りの場合を選択) 3. ITV監視設備 4. 非常通報 5. 警備巡回 6. その他 ()
特 殊 設 備	特殊設備の有無 1. デジタルサイネージ 2. その他 () (有りの場合を選択)
自 動 火 災 報 知 設 備	受 信 機 方 式 : 1. P型 回 線 数 (防 排 煙 含 む) _____ 回線 2. R型 アドレス点数 (防排煙含む) _____ 点 感 知 器 方 式 : 1. 一般 (デジタル) 方式 2. アナログ方式
昇 降 機 設 備	エレベータ台数 : 1. 乗用 _____ 台 2. 乗用・荷物用 _____ 台 3. 荷物用 _____ 台 エレベータ種類 : 1. ロープ式 _____ 台 2. 油圧式 _____ 台 3. 機械室以式 _____ 台 エスカレータ台数 : _____ 台 エレベータ付加仕様の有無 : 1. ITVモニター 2. 非常通報ボタン

学校建築

以下の内容はすべて（１．新築 ２．増築部分のみ）のデータとします。

熱源システム

複合建築や既存部と熱源を兼用している場合、工事対象の学校用途に相当する部分について記載し、容量などは適宜全体共用からの按分としてください。

- 対象施設が多棟型で棟により主熱源が異なる場合は、本用紙をコピーし、棟ごと（熱源が複数の棟で統合されている場合には、熱源単位毎）に記入してください。
- 主熱源方式が冷温熱源兼用の場合は、冷房能力の合計を冷熱源として、暖房能力の合計を温熱源として計上してください。
- 主熱源が２方式以上あると判断される場合は該当する全ての熱源について記入してください。
（同容量程度で中央熱源と個別熱源を併用する場合、異なる個別熱源方式を併用する場合など）
- 搬送については、該当する方式を○で囲んでください。（複数選択可）

棟番号 [] (注) (A) 共通用 2/9 施設概要でご回答いただいた棟の番号

冷 熱 源	装置容量		1. 電 気	_____ kW	2. ガ ス	_____ kW
	(冷房能力)		3. 油	_____ kW	4. 地域熱供給	_____ kW
			5. ユーティリティ排熱	_____ kW	6. その他 ()	_____ kW
温 熱 源	合計装置容量 (冷房能力)		_____ kW		蓄熱方式	1. 有り ^{*3)} _____ 2. 無し
	主熱源方式 ^{*1)} _____ ・その他特記すべき熱源機器の仕様 ^{*2)} _____		冷水 往 _____ °C 還 _____ °C		蓄熱槽材質 ^{*4)} _____	蓄熱槽容量 _____ m ³ (_____ MJ または _____ RT・H)
冷 熱 源	装置容量		1. 電 気	_____ kW	2. ガ ス	_____ kW
	(暖房能力)		3. 油	_____ kW	4. 地域熱供給	_____ kW
			5. ユーティリティ排熱	_____ kW	6. その他 ()	_____ kW
温 熱 源	合計装置容量 (暖房能力)		_____ kW		蓄熱方式	1. 有り ^{*3)} _____ 2. 無し
	主熱源方式 ^{*1)} _____ ・その他特記すべき熱源機器の仕様 ^{*2)} _____		温水 往 _____ °C 還 _____ °C		蓄熱槽材質 ^{*4)} _____	蓄熱槽容量 _____ m ³ (_____ MJ)
搬送	配管方式： 1. 2 管式 2. 4 管式	一次側（熱源）変流量制御： 1. 冷温水一次側ポンプ変流量制御 2. 冷却水ポンプ変流量制御	二次側変流量制御： 1. 冷温水二次側ポンプ台数制御 2. 冷温水二次側ポンプ回転数制御			

*1) 主熱源方式（アルファベットを上表に記入してください。複数選択可）

冷熱源	地域熱供給	電動式	ガス・油燃焼式
中央式	A. 地域供給熱源（冷水）	D. 水冷専チラー（ターボ含む） E. 空冷専チラー	N. 吸収式冷凍機（蒸気） O. 吸収式冷凍機（温水）
個別式		F. 水冷パッケージエアコン	

温熱源	地域熱供給	電気式	ガス・油燃焼式
中央式	B. 地域供給熱源（温水） C. 地域供給熱源（蒸気）	G. 電気ボイラ	P. ボイラ（温水） Q. ボイラ（蒸気）
個別式		H. 電気ヒーター	R. ファンヒーター

冷温熱源	地域熱供給	電動式	ガス・油燃焼式
中央式		I. 空冷ヒートポンプチラー J. 水冷ヒートポンプチラー	S. 直燃吸収式冷温水発生機 T. 排熱投入型冷温水発生機
個別式		K. 空冷ヒートポンプマルチパッケージ（冷暖切替） L. 空冷ヒートポンプマルチパッケージ（冷暖同時） M. 小型水冷パッケージ	U. ガスエンジン駆動ヒートポンプパッケージ（冷暖切替） V. ガスエンジン駆動ヒートポンプパッケージ（冷暖同時） W. ディーゼルエンジン駆動ヒートポンプパッケージ

*2) その他特記すべき熱源機器の仕様（熱回収ターボ、インバーターターボ、熱回収ヒートポンプ、三重効用吸収式冷温水発生機など、採用した熱源機器の特徴があれば記入してください。）

*3) 蓄熱方式（アルファベットを上表に記入してください。）

- A. 水蓄熱（連結混合槽型） B. 水蓄熱（温度成層型） C. 氷蓄熱（スティック内融式）
D. 氷蓄熱（スティック外融式） E. 氷蓄熱（スティック内外融式） F. 氷蓄熱（ダイミックス）
G. 潜熱蓄熱 H. その他（ ）

*4) 蓄熱槽材質（アルファベットを上表に記入してください。）

- A. 躯体 B. パネル組立 C. タンク一体成形 D. その他（ ）

空調システム

- それぞれの部屋用途で、その代表的な方式についてお答え下さい。
- 同一種類の部屋で、2通り以上の方式がある場合は、縦に線を入れて区分して下さい。
- 組合わせ方式の場合は、該当の記号を+記号で接続して記入して下さい。
- その他には、実験室以外の一般共用室・教室がある場合に記入して下さい。（多目的室・特別支援教室など）

建物別 部屋用途	大学校：	講義室 (小)	講義室 (中)	講義室 (大)	事務室	厨房	体育館	屋内 プール	その他 ()	記入例
	小・中・高：	普通教室	階級教室	講堂	職員室	給食室				
部屋面積 (㎡/室)										80
人員密度 (人/㎡)										0.5
天井高さ (m)										3
冷暖房設備の有無 *1)										d
主な空調方式 *2)										A + G
空調機あたり平均対象面積 (㎡/系統) *3)										5/400
空調機給気量*4) (㎡/h)										A + G
空調機給気量中の 外気量割合 (%) *5)										25
空調容量 (W/㎡) *6)										200
主な外気供給方式 *7)										D
換気風量 (㎡/h/室) *8)										1500
フィルターの種類 *9)										C
加湿方式 *10)										G
空調使用量の計量方式 *11)										A

*1) 各部屋に設置されている冷暖房設備を下記より選択して記入ください。

- a. 冷暖房設備なし b. 暖房設備のみ c. 冷房設備のみ d. 冷暖房設備

*2) 主な空調方式 (アルファベットを前ページに記入して下さい。また、冷媒方式の場合は採用冷媒を記入ください。)

	ゾーン式	局所式	その他
冷温水方式	A. 定風量単一ダクト B. 変風量単一ダクト (VAV) C. ダクトレス床吹出 D. ディスプレースメント (置換) E. その他	F. ファンコイルユニット (2 管式) G. ファンコイルユニット (4 管式) H. 床吹出ファン I. その他 ()	J. デシカント空調
冷媒方式 採用冷媒 (R-)	J. パッケージカセット型 K. パッケージダクト吹き L. パッケージ天吊り M. その他	N. 空冷ヒートポンプマルチパッケージ O. 水熱源ヒートポンプユニット P. その他 ()	ゾーン・局所併用式 ※ A + C、F + H などのように記入してください。

*3) 2) の主な空調方式にて A～E を選択した場合に、空調機 1 台あたりが供給している空調面積を記入してください。

*4) 主な空調機の 1 台あたりの給気風量を記入してください。

パッケージ型空調機・ファンコイルユニット・水熱源ヒートポンプユニット等端末機器の循環風量は含まないでください。

*5) 空調機給気量中の外気量割合 (%) = 外気量 / 空調機給気量 × 100

*6) 空調容量は、空調機・外調機およびパッケージ型空調機・ファンコイルユニット等端末機器を含めた合計の冷房容量を記入してください。(冷房設備がない場合は暖房容量を記入ください。)

*7) 外気供給方式 (アルファベットを記入して下さい。)

A. 外調機 (複数階一括) B. 外調機 (各階毎) C. 空調機混合処理 (複数階一括) D. 空調機混合処理 (各階毎)
E. 個別 (外調・全熱交換器付) F. 個別 (外調無し・全熱交換器付) G. 個別 (外調・全熱交換器無し)

*8) 代表室の 1 部屋あたりの換気風量を記入してください。

*9) 主フィルタの種類 (アルファベットを記入して下さい。)

A. 粗塵のみ B. 中性能 (比色法 50～80%) C. 中性能 (比色法 80%以上) D. 静電式
E. その他 ()

*10) 加湿方式 (アルファベットを記入して下さい。)

A. 高圧水スプレー式 B. 気化式 C. 電気式加湿パン式 D. 電気式蒸気発生器 E. 中央式蒸気方式
F. 間接式蒸気方式 G. 遠赤外線式 H. その他 ()

*11) 空調使用量の計量方式 (アルファベットを記入して下さい。)

A. 建物ごとの計量 (部屋ごとには面積按分)
B. 個別計量 (階ごと) C. 個別計量 (フロアより細かいエリアごと) C. 個別計量 (部屋ごと)

空調設備動力

(注)・各用途の電動機定格容量の合計を記入ください。kVA 表示の機器は 0.7 を乗じて kW 換算した上で算入ください。

設 備 項 目	冷温熱源機器	空調用ポンプ	空調用ファン	換 気 フ ァ ン
動 力	_____ kW	_____ kW	_____ kW	_____ kW

中央監視設備

(注)・電気設備他全て含む

監視点数	計 _____ 点 (ON・OFF・状態・警報で 4 点)
------	-------------------------------

以下の内容はすべて(1. 新築 2. 増築部分のみ)のデータとする。

給 水 設 備

水源*1)	上水用 ()	雑用水用 ()		
給水方式*2)	()			
設計計画給水量*3)	学生・生徒1人1日当り給水量	上水()ℓ/人・日 雑用水()ℓ/人・日 合計()ℓ/人・日		
	教職員1人1日当り給水量	上水()ℓ/人・日 雑用水()ℓ/人・日 合計()ℓ/人・日		
	合計*4)	上水()ℓ/人・日 雑用水()ℓ/人・日 合計()ℓ/人・日		
水槽*5)	種別	上 水 用		
	種類	受水槽	高置水槽	圧力水槽
	容量	() m ³ ×()基	() m ³ ×()基	() m ³ ×()基
		() m ³ ×()基	() m ³ ×()基	() m ³ ×()基
	材質*6)	()	()	()
	種別	雑 用 水 用		
	種類	受水タンク	高置タンク	圧力タンク
	容量	() m ³ ×()基	() m ³ ×()基	() m ³ ×()基
		() m ³ ×()基	() m ³ ×()基	() m ³ ×()基
	材質*6)	()	()	()
管内流速*7)	()m/s			
負荷流量の算 定方法	1.水使用時間率と器具給水負荷単位による方法 2.器具給水負荷単位による方法 3.器具利用から予想する方法 4.その他()			
個別計量	1.無 2.有	1.直読式 2.遠隔式		
	計量区分*8)	()()		

- * 1) 水源 A.公共水道 B.井水 C.再利用水 D.雨水 E.その他()
- * 2) 給水方式 A.高置水槽方式 B.圧力水槽方式 C.ポンプ直送方式 D.水道直結直圧方式
E. 水道直結増圧方式 F. その他()
- * 3) 設計計画給水量 計画時の値を記入してください。
- * 4) 合計 内訳が困難な場合は1人1日当たりの合計値を記入してください。
- * 5) 水槽 上水、雑用水が共用の場合は上水用に記入してください。
- * 6) 材質 A.ステンレス B.鋼鉄 C.FRP(単板) D.FRP(複合板) E.コンクリート
F.木製 G.その他()
- * 7) 管内流速 配管口径を決定する際に設定した流速を記入してください。
- * 8) 計量区分 A.棟別 B.階別 C.用途別 (後段の括弧内に対象用途を記入してください。)

給湯設備

給湯供給箇所と方式	供給箇所 ()	1.中央方式 2.局所方式 3.中央と局所の併用方式					
	供給箇所 ()	1.中央方式 2.局所方式 3.中央と局所の併用方式					
	供給箇所 ()	1.中央方式 2.局所方式 3.中央と局所の併用方式					
	供給箇所 ()	1.中央方式 2.局所方式 3.中央と局所の併用方式					
局所式の場合	供給方式*9)	貯湯式 ()		瞬間式 ()			
	利用の方法	貯湯式	1. 飲用 2. 雑用 3. その他()				
		瞬間式	1. 飲用 2. 雑用 3. その他()				
	設計計画給湯量*10)	1. 飲用 ()ℓ/人・日		2. 雑用 ()ℓ/人・日			
		3. その他() ()ℓ/()					
	容量、能力、設置台数	貯湯式	貯湯容量(ℓ)	5ℓ	10ℓ	15ℓ	20ℓ
			台数	()	()	()	()
			貯湯容量(ℓ)	25ℓ	30ℓ	40ℓ	50ℓ
			台数	()	()	()	()
		瞬間式	出湯能力(号)	3号	5号	10号	16号
			台数	()	()	()	()
出湯能力(号)			20号	24号	32号	50号	
台数			()	()	()	()	
使用時の給湯温度*12)	貯湯式 ()℃		瞬間式 ()℃				
加熱源の種類*13)	貯湯式 ()		瞬間式 ()				
中央式の場合	供給方式*14)	()					
	設計計画給湯量*10)	学生・生徒1人1日当り給湯量 ()ℓ/人・日					
		教職員1人1日当り給湯量 ()ℓ/人・日					
		合計*11) ()ℓ/人・日					
	貯湯槽の給湯温度*12)	()℃					
	管内流速*15)	()m/s					
	利用の方法	1.洗面 2.雑用 3.その他()					
	給湯加熱器	種類	1.ボイラ 2.熱交換器 3.その他()				
		容量(*合計値を記入してください)		()kJ/h			
		1日使用量の割合*16)		()			
		加熱源の種類*13)		()			
貯湯タンク	容量	()m³ × ()基					
	1日使用量の割合*16)		()				
	材質	1.ステンレス(304・316・444・クラッド) 2.鋼板(ライニング) 3.その他()					
個別計量	1.無 2.有	1.直読式 2.遠隔式					
	計量区分*17)	()()					

*9) 供給方式 A.壁掛け式 B.置き台式 C.床置き式 D.その他()

*10) 設計計画給湯量 計画時の値を記入してください。

*11) 合計 内訳が困難な場合は1人1日当たりの合計値を記入してください。

*12) 給湯温度 設定温度を記入してください。

*13) 燃料の種類 A.都市ガス B.プロパンガス C.灯油 D.重油 E.蒸気 F.温水 G.電気 H.コージェネレーション I.太陽熱 J.その他()

*14) 供給方式 A.上向き供給方式 B.下向き供給方式 C.その他()

*15) 管内流速 配管口径を決定する際に設定した流速を記入してください。

*16) 1日使用量の割合 A.1/15 B.1/10 C.1/8 D.1/7 E.1/6 F.1/5 G.1/4 H.1/3 I.3/10 J.1/2 K.2/5 L.3/5 M.3/4 N.4/5 O.1.0 P.その他()

*17) 計量区分 A.棟別 B.階別 C.用途別 (後段の括弧内に対象用途を記入してください。)

排水通気設備

排水の放流先*18)		生活排水 ()		雨水 ()			
屋内排水方式	汚水、雑排水の方式	1.合流排水方式 2.分流排水方式[分流区分*19)]					
通気方式	通気方式*20) ()						
生活排水の処理施設(再利用しない場合)	施設の有無と処理方式	汚水、雑排水	1.無 2.有	{処理方法 1.単独方式 2.合併方式} {処理方式*21) ()}			
		厨房排水	1.無 2.有	{処理方式*21) ()}			
	処理能力	汚水、雑排水	()	m ³ /日	厨房排水	() m ³ /日	
		汚水、雑排水	BOD	1. 10ppm 2. 20ppm 3. 30ppm 4. 60ppm 5. 90ppm 6. 120ppm 7. その他() ppm)			
			COD	1. 15ppm 2. 30ppm 3. 45ppm 4. 60ppm 5. その他() ppm)			
			SS	1. 20ppm 2. 50ppm 3. 60ppm 4. その他() ppm)			
		厨房排水	BOD	1. 300ppm 2. 600ppm 3. その他() ppm)			
			ノルマルヘキサン	1. 20ppm 2. 30ppm 3. その他() ppm)			
	SS		1. 300ppm 2. 600ppm 3. その他() ppm)				
	排水(再)利用の処理施設(再利用する場合)	施設の有無、原水の種類及び利用方法	生活排水 (厨房含む)	1.無 2.有	{原水の種類*22) ()} {利用の方法*23) ()}		
雨水			1.無 2.有	{利用の方法*23) ()}			
処理方式、処理能力及び水質		生活排水 (厨房含む)	処理方式*21) ()	処理能力 m ³ /日			
			処理水の水質*25)	BOD() COD() SS()			
		雨水	処理方式*21) ()	処理能力 m ³ /日			
			処理水の水質*26)	BOD() COD() SS()			
		管径決定法		1.器具単位法 2.定常流量法 3.その他()			
		排水の放流規制		1.無 2.有 {放流規制()}			

- * 18) 放流先 1.公共下水道 2.河川 3.その他()
- * 19) 分流区分 A.汚水 B.洗面・手洗い C.厨房 D.その他()
- * 20) 通気方式 A.各個通気方式 B.ループ通気方式 C.伸頂通気方式 D.特殊継ぎ手の一管方式 E.その他()
- * 21) 処理方式
A.長時間ばっき方式 B.標準活性汚泥方式 C.回転板接触方式 D.接触ばっき方式 E.散水濾床方式
F.凝集濾過方式 G.凝集加圧浮上方式 H.活性汚泥方式 I.微生物処理方式 J.急速濾過方式
K.沈砂方式 L.中和沈殿方式 M.滅菌処理(薬品) N.滅菌処理(熱) O.貯留減衰方式 P.希釈方式 Q.焼却方式 R. その他()
- * 22) 原水の種類 A.汚水 B.雑排水 C.厨房排水 D.その他()
- * 23) 利用の方法 A.便所洗浄水 B.散水用水 C.池・噴水用水 D.その他()
- * 24) 集水場所 A.屋根(人の利用無し) B.屋根(人の利用有り) C.バルコニー D.駐車場 E.その他()
- * 25) 処理水水質 A.10ppm以下 B.20ppm以下 C.30ppm以下 D.その他() ppm以下

衛生器具設備

衛生器具の個数	種 別	洋風大便器 (一般便座)	洋風大便器 (洗浄便座)	和風大便器	小便器	洗面器	車椅子便所 (便器、手洗一式)
	学生・生徒用男子便所	()個	()個	()個	()個	()個	()個
学生・生徒用女子便所	()個	()個	()個	()個	()個	()個	()個
教職員用男子便所	()個	()個	()個	()個	()個	()個	()個
教職員用女子便所	()個	()個	()個	()個	()個	()個	()個
洗浄方式及び形式	学生・生徒用	大便器	洗浄方式*26) ()	形式*27) ()			
		小便器	洗浄方式*28) ()	形式*29) ()			
	教職員用	大便器	洗浄方式*26) ()	形式*27) ()			
		小便器	洗浄方式*28) ()	形式*29) ()			
節水の有無	大便器	1.無 2.有	{ 1.節水大便器 2.新節水大便器*30) 3.超節水大便器*31) 4.節水洗浄弁 5.自動洗浄システム 6.擬音装置 7.その他() }				
	小便器	1.無 2.有	{ 1.節水小便器*32) 2.個別光電式 3.グループタイマ式 4.グループ光電式 5.その他() }				
	水栓	1.無 2.有	{ 1.自動感知式 2.節水コマ 3.自閉式 4.全自動洗面器*33) 5.その他() }				
設備ユニットの有無	学生・生徒用	1.無 2.有	{ 1.洋風大便器 2.和風大便器 3.洗面器 4.掃除流し 5.その他() }				
	教職員用	1.無 2.有	{ 1.洋風大便器 2.和風大便器 3.洗面器 4.掃除流し 5.その他() }				
洗浄便座の有無	学生・生徒用	1.無 2.有	{ 1.全ての便所 2.男子便所 3.女子便所 4.その他 }				
	教職員用	1.無 2.有	{ 1.全ての便所 2.男子便所 3.女子便所 4.その他 }				

* 26) 大便器洗浄方法

A.洗浄弁方式 B.ロータンク方式 C.ハイタンク方式 D.その他()

* 27) 大便器形式

A.洗い出し式 B.洗い落し式 C.サイホン式 D.サイホンゼット式 E.フローアウト式 F.サイホンホルテックス式
G.その他()

* 28) 小便器洗浄方法

A.洗浄弁方式 B.自動サイホン方式 C.その他()

* 29) 小便器形式

A.床置ストール式 B.壁掛ストール式 C.壁掛式(小型) D.その他()

* 30) 新節水大便器

洗浄水量が10L程度の節水便器。

* 31) 超節水大便器

洗浄水量が6L程度の節水便器。

* 32) 節水小便器

小便器上部の洗浄水吐水口を改良し洗浄水量を少なくした小便器。

* 33) 全自動洗面器

手を差し出すだけで手洗乾燥まで器具に手をふれないでできる全自動一体型洗面器。

消 火 設 備

設置した消火設備の有無	1号消火栓	易操作性1号消火栓	2号消火栓	スプリンクラー湿式	スプリンクラー乾式	スプリンクラー予作動 (湿式)	スプリンクラー予作動 (乾式)
	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 3.無
	放水型スプリンクラー	補助散水栓	水噴霧	泡	二酸化炭素	ハロン消火	新ガス消火
	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無
	粉末	連結散水	連結送水	() () () ()	() () () ()	() () () ()	() () () ()
	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無	1.有 2.無
既設ハロゲン消火設備対応		1.ハロンバンクの利用 2.代替え設備への改善 3.その他()					

厨房設備

食堂数	()箇所	厨房総面積*34) () m ²
1日の給食数	学生・生徒用食堂 ()食/日	職員用食堂 ()食/日
厨房床の方式	学生・生徒用食堂	1.ドライ方式 2.ウエット方式 3.併用*35)() 4.その他()
	職員用食堂	1.ドライ方式 2.ウエット方式 3.併用*35)() 4.その他()
グリース阻集器	1.無 2.有 { 1.工場製品 a.ステンレス b.FRP c.鋳物 d.その他()計 台 } 2.現場施工 { 計()台 }	
厨房の冷房	学生・生徒用食堂	1.無 2.有 { 1.スポット空調 2.厨房全域空調 3.その他() }
	職員用食堂	1.無 2.有 { 1.スポット空調 2.厨房全域空調 3.その他() }
加熱機器の熱源	1.全電気 2.全ガス 3.全蒸気 4.電気・ガス併用 5.ガス・蒸気併用 6.その他()	
冷蔵庫の冷却方式	1.空冷式 2.水冷式 3.空冷・水冷式併用 4.その他()	

* 34) 厨房総面積 パントリー、食品庫、食器保管庫、冷蔵冷凍庫を含みます。

* 35) 併用 ドライ、ウエットの併用方式の場合、ウエット部分の範囲を次から選択して下さい。

A.下処理 B.食器洗浄 C.調理 D.配膳 E.その他()

ごみ処理設備

分別の有無	1.無 2.有 { 1.ごみ箱を分ける 2.回収作業時に分ける 3.その他() }		
分別の種類	一般廃棄物	1.厨芥物 2.その他紙屑など	
	再生可能廃棄物	1.ビン類 2.缶類 3.ダンボール 4.発泡スチロール 5.新聞雑誌 6.コピー用紙 7.プラスチック 8.その他()	
	非再生廃棄物	1.OA機器、机、金属くず等 2.その他()	
	処理方法*36)	一般廃棄物 厨芥物() その他紙屑など() 再生可能廃棄物 ビン類() 缶類() ダンボール類() 非再生廃棄物 ()	
排出量	一般廃棄物	計()kg/日*37)	厨芥物()kg/日 その他紙屑等()kg/日
	再生可能廃棄物	計()kg/日 *37)	ビン()kg/日 カン()kg/日
			ダンボール()kg/日 発泡スチロール()kg/日
			新聞雑誌()kg/日 コピー用紙()kg/日
			プラスチック()kg/日 その他()kg/日
非再生廃棄物	計()kg/日		
処理装置	焼却炉	1.無 2.有 {対象物*38)()、処理能力()kg/時、動力()kW}	
		燃料の種類 1.都市ガス 2.油 3.その他()	
	脱水装置	1.無 2.有 {対象物*38)()、処理能力()kg/時、動力()kW}	
	圧縮装置	1.無 2.有 {対象物*38)()、処理能力()kg/時、動力()kW}	
	粉碎装置	1.無 2.有 {対象物*38)()、処理能力()kg/時、動力()kW}	
	厨芥物処理装置	1.無 3.有 {対象物*38)()、処理能力()kg/時、動力()kW}	
焼却炉の有無及びダイオキシン対策	1.無 2.有 { 1.焼却炉を停止し搬出処理とした 2.その他() }		

* 36) 処理方法 A.未処理で建物外に搬出 B.処理後建物外に搬出 C.脱水処理 D.生物処理
E.建物内で焼却処理 F.圧縮処理 G.溶解処理 H.粉碎処理 I.その他()

* 37) 排出量 右欄の内訳の記入が困難な場合は、合計値のみ記入してください。

* 38) 対象物 1.ビン類 2.缶類 3.ダンボール 4.発泡スチロール 5.新聞雑誌
6.コピー用紙 7.プラスチック 8.その他()

特殊設備

プール	種類	1.100mプール	2. 50mプール	3. 25mプール	4.()	5.()	6.()
プールろ過設備	ろ過方式*39)						
	循環回数	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日	回/日
	オーバーフロー水の再循環の有無	1. 有 2. 無	1. 有 2. 無	1. 有 2. 無	1. 有 2. 無	1. 有 2. 無	1. 有 2. 無
温水プール熱源	加熱容量	()kw					
	加熱源の種類*40)	()					
グランド散水設備	散水方式*41)	()					
太陽熱給湯設備	方式*42)	()					
	集熱板型式*43)	()					
	集熱板面積	()㎡ または ()㎡/枚 × ()枚					

* 39) ろ過方式

A. 急速ろ過方式 B. 砂ろ過方式 C. 珪藻土方式 E. カートリッジ方式

* 40) 加熱源の種類

A. 都市ガス B. プロパンガス C. 灯油 D. 重油 E. 蒸気 F. 温水 G. 電気 H. コージェネレーション
I. 太陽熱 J. その他()

* 41) 散水方式

A. 散水栓 B. 移動式スプリンクラー C. 固定式スプリンクラー

* 42) 方式

A. 自然循環方式 B. 強制循環(直接集熱)方式 C. 強制循環(間接集熱)方式
D. その他()

* 43) 集熱板形式

A. 平板型集熱器 B. 真空管型集熱器 C. その他()

衛生設備動力

動力種別	一般動力 ()kW	非常動力 ()kW
------	------------	------------

ご回答ありがとうございました。